

様式第1号

## 麻生集落「集落営農ビジョン」

作成日：平成31年 3月 6日

修正日： 年 月 日

市町村名	八頭町	組織名	農事組合法人 麻生農園
1 地区の範囲 八頭郡八頭町麻生地区			
2 地区の概要			
水田面積	11.87ha	主な水田栽培作目	水稻
農家数	33戸	認定農業者数	1 経営体
人・農地プランの中心となる経営体数	1 経営体		
3 組織化及び集積率（経営、機械の共同利用及び作業受託）の目標			
組織の概要	【項目】	【現状】	【目標】 32年度
	設立時期 (規約等の制定日)	平成26年11月 9日	年 月 日
	組織形態 (該当形態に○を記入)	・ <input checked="" type="checkbox"/> 共同利用型 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 作業受託型 ・協業経営型 ・未組織	・ <input checked="" type="checkbox"/> 共同利用型 <input checked="" type="checkbox"/> 作業受託型 ・協業経営型
	構成農家数	20戸	23戸
	集積面積 A	6.18ha	6.74ha
	対象水田面積 B	11.66ha	11.66ha
農地の集積	集積率 A/B	53%	58%
	地区外集積面積 C	0.70ha	0.70ha
	経営面積 A+C	6.88ha	7.44ha
世代交代への取組	退職者の参加を推進する	退職者の参加を推進する	
新規就農者の活動参画	特になし	特になし	

#### 4 添付資料

集積状況一覧（別表1、2）、機械の利用計画（別紙）、規約の写し及び計画の根拠が分かる資料（総会資料又はビジョン作成話し合いの議事録等）

注1) 目標は、事業実施最終年度の翌年度とする。

2) 設立時期の目標欄は、ビジョン作成時に組織が設立されていないときのみ記載すること。

3) 経営面積等の現状及び目標は、集積状況一覧（別表1、2）により作成すること。

### I 集落農に対する基本方針

#### 【集落農業の現状と課題及び課題を解決するための対応方針】

##### 1 担い手の明確化及び水田利用集積目標

※考え方（担い手をどう育成し確保していくか。農地賃借、機械の共同利用、作業受託、生産の組織化などについて。）

当集落では、高齢化等により耕作が困難となる状況が生じている。また、水田一枚当たりの平均面積が1.2haと狭く作業効率が悪いため、ほかの大型組織（担い手）も作付（集積）には来てくれない。

このため、集落の農地は集落で守り、住みよい集落を目指し、平成26年に農事組合法人「麻生農園」を設立し、麻生集落の総水田面積11.87haのうち6.18haを集積して、20戸の加入農家で水稻の維持管理作業を行っている。

現在、ほ場整備田に耕作放棄地はない。

今後は、退職者に作業に加入していただき、可能な限り集積を推進し、地区内の水田の維持・振興と住みよい田園風景の地域づくりを図る。

##### 2 水田の作付計画（水稻以外の作物を含む）、活用方針・具体策

※考え方（今後伸ばしていく作物は何か。団地化・ブロックローテーション。作物の品質向上。）

わさび等の作付を計画したが、組合の作業員の大半が勤務者のため作業が困難であった。

ほ場整備田区域は全体的に用・排水に恵まれているため、当面は適正な管理による高品質な水稻栽培に務める。

##### 3 農業用機械施設の効率利用

※考え方（省力・低コスト化に向け、機械・施設をどのように有効利用していくか。今後整備が必要なもの、JAが整備している施設をどのようにするか。）

個人の手持ちの機械で割り当てをして耕耘を行っているが、古い機械で効率も悪く、修理等の費用の組合員負担が大きくなっているため、徐々に廃棄していく、本事業で導入するトラクターを主として作業を行い、効率的な運用と経費削減に努める。

今後、その他各自が持っている古い田植機等も廃棄していく、農業機械の共同利用を検討し、更なる効率化や低コスト化を図る。

##### 4 世代交代、組織の後継者育成に関する方針

※考え方（世代交代に備え、組織運営の後継者をどのような方法で育成していくか。新規就農者の活動参画。具体的な取組みの内容について。）

まず、退職者の加入を推進し、平日の作業員の確保を行う。また、組合に加入していない勤務者、後継者の休日の作業参加を推進し、組合員の後継者、新たな組合員の育成・確保を図る。これにより、組織運営の安定化、農地の維持を図る。

5 経営多角化の方針・具体策【経営多角化支援メニューを実施する組織においては必ず記入】  
※考え方（どのような手法で多角化を図るか。新規作物の導入、販路拡大に向けた自主的な取組みなどについて。）

## II 農業用機械施設の整備方針

### 1 機械施設の整備計画

機械施設名	規格能力	台数等	金額(円)	導入予定年月	本事業による導入機械に○
トラクター (ウイングハロ ー含む)	35馬力	1式	5,860,080	平成31年4月	○